

# はじめよう

# ゴミの分別

プラスチック製容器包装の分別収集を昨年の12月から全市的にスタートしました。市民の皆さんのご協力によって、順調なスタートとなっています。

しかし、まだスタートして1か月。分別に戸惑うことも多いと思います。

今月号では、先行的に6月から実施したモデル町会の一つで、若松西町会の三上会長にお話を伺ってきたので、ご紹介します。

——モデル町会の取り組みにあたっての周知方法は

まずは、プラスチック製容器包装分別の目的や内容、注意事項を記載した「町会だより」を作成して、町会員に配布しました。

さらに、1か月間、分別の意識を高めるため、役員が収集日に見回りをしました。

——周知していく中で大変だった点は多くの人に理解と協力は得られましたが、マナーを守らない人がいました。

周知するのは時間がかかります。

——取り組んでみて良かった点は

燃やせないごみの量が半分以下になり、ごみステーションからあふれることがなくなり、このことで、カラスの被害がなくなりました。

また、収集日が増えたことで、マナーの改善が図られました。

——町会の方から寄せられた意見は

プラスチック製容器包装がこんなにあるとは思わなかったという声や、マヨネーズや納豆などの容器は洗うのが大変で、洗っても汚れが落ちないという意見などがありました。

——先行町会として市民に伝えたいことは

町会の取り組みとして、町会員一人ひとりの理解を得ることが必要です。町会だよりやパトロールの実施は有効だと思います。また、市と連



ゴミステーションの容量に余裕ができたと話す三上会長

携して取り組まないと成果はあがらないと思います。

プラマークが付いているもので、判断や取り扱いが難しいものがあります。まずはわかるもの、取り組みることからスタートしてみてくださいでしょうか。

——市に対しての要望は

市は、情報発信が足りないと思います。取り組みの途中経過なども情報発信して欲しい。また、ごみ行政の将来展望を早く知らせてください。それから、リサイクルセンターなどの施設をもっと見てもらう機会を増やすことも大切です。

これは提案ですが、分別が困難なものは対象から外してはどうでしょうか。

最後に、この取り組みは、ごみの減量化や資源化に効果が大きいと思うので、さらなる取り組みの徹底を図って欲しいと思います。

## これ、どう処理する？

## ゴミの疑問

**A Q**

洗剤などの容器は洗っても、においが取れません  
中身を使い切り、軽くゆすいでいた  
だければ、においが残っていてもプ  
ラとして出してください。

**A**

はさず、付いたままペットボトル  
として出すことができます。

**Q**

ペットボトルの口に  
ついてる白いリン  
グは、はずして出  
すのですか



**A**

まま出してください。

**Q**

ここでは、市民の皆さんからあった主な  
質問を紹介していきます。

肉や魚のトレイにかかっているラッ  
プに貼ってある値札などの紙ラベル  
は、はがさなければなりませんか  
簡単にはがれるものは、はがして  
ください。はがれにくいものは、そ

### 資源化に効果大！

### 燃やせないごみの

### 3.4%をリサイクル

収集日1日あたり約1.3t。市民の皆さんのご協力により、開始から2週間でこれだけ分別が進んでいます。さらなる資源化に向けて、引き続きご協力をお願いします。



問合せ先

市廃棄物対策課